

区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。



日本共産党荒川区議会議員
斉藤くに子
区政ニュース

メール: arajcp@tcn-catv.ne.jp

区議団http://www.jcp-arakawakugidan.jp/くに子ブログhttp://s-kuniko.jugem.jp/



2019年7月28日No1188号

区役所直通3802-4627
fax3806-9246

参議院選挙の荒川区の結果

今回の参議院選挙の投票率が比例代表で48.79%、選挙区で48.80%。過去最低だった1995年の参議院選挙の44.52%に次ぐ戦後2番目の低さです。

【比例代表】2019年7月21日投開票

	荒川区	投票率	2016年	投票率	2013年	投票率
有権者数	169,799	50.88%	167,007	57.13%	162,719	52.99%
政党名	得票数	得票率%	得票数	得票率%	得票数	得票率%
日本共産党	11,527	13.68%	14,635	15.86%	12,532	14.93%
立憲民主	11,830	14.04%	民進 15,172	16.45%	民主 6,957	8.29%
国民民主	3,581	4.25%				
社民党	1,322	1.57%	2,081	2.26%	1,353	1.61%
自民党	27,788	32.98%	32,236	34.94%	26,990	32.15%
公明党	11,777	13.98%	12,616	13.67%	12,479	14.86%
維新の会	6,950	8.25%	おおさか維新 6,966	7.55%	維新 9,781	11.65%
れいわ新選組	5,948	7.06%				
その他	3,528	4.19%	8,552	9.27%	13,864	16.51%
合計	84,251		92,258		83,956	

東京の投票率は比例51.77%、選挙区51.76%、荒川区は3年前比で6.25マイナス、50.88%でした。諦めが強いのでしょうか。

選挙を自分のこととして関心を持ってもらうにはどうしたらいいのでしょうか？



日本共産党吉良よし子の再選を勝ち取ることが出来ました。

また比例代表では立憲民主と公明党とほぼ同じ1万1千票台でした。

8時間働けば普通に暮らせる社会・お金の心配なく学び子育て出来る社会・くらしを支える社会保障を

提案した「暮らしの希望3つのプラン」実現のために全国で力を合わせます。

選挙も一段落しましたので区民要望の聞き取りや調査研究を行い、9月会議(9月9日から10月11日・決算議会)の準備をすすめ、区としての対策も提起し暮らし応援のために、頑張ります。

【東京選挙区】(定数6人)

	荒川区	投票率	2016年	投票率	2013年	投票率
有権者数	169,799	50.88%	167,007	57.14%	162,719	52.99%
候補者名	得票数	得票率%	得票数	得票率%	得票数	得票率%
吉良よし子(共)	12,149	14.45%	山添11,248	12.25%	吉良 11,361	13.55%
塩村あやか(立民)	8,182	9.73%	民進 14,586	15.89%	民主 6,981	8.33%
山岸一生(立民)	5,738	6.82%	民進 6,288	6.85%	大河原 2,273	2.71%
水野もとこ(国民)	2,719	3.23%				
朝倉れい子(社民)	1,139	1.35%	社民 1,231	1.34%		
丸川珠代(自)	16,049	19.08%	中川 11,519	12.55%	丸川 17,457	20.82%
たけみ敬三(自)	8,158	9.70%	朝日 12,211	13.30%	たけみ 7,732	9.22%
山口なつお(公)	14,160	16.84%	竹谷 13,618	14.84%	山口 13,940	16.62%
おときた駿(維新)	8,019	9.54%	おときた駿 6,814	7.42%	維新 6,577	7.84%
その他	7,782	9.25%	14,278	15.55%	山本 9,339	11.14%
計	84,095		91,793		83,854	

★法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は第4月曜日

8月は定例はお休み

★荒川区荒川17-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax 3806-5134

★生活時刻は随時随時に応じます。ご連絡ください。

★別の日程でも弁護士事務所の予約を取りますのでご連絡ください。



ご意見ご要望

○21日の夜はテレビから離れられなかった。岩手・宮城・秋田・山形・新潟・長野・滋賀・愛媛・大分・沖縄の野党共闘当確は嬉しかった。農業漁業そして辺野古…地方から自民党政治への怒りが広がっているのだろう。野党共闘頑張してほしい。

高齢者や障害者などの投票の保障を



東京新聞が高齢者の一票高い「壁」

障害者の1票なおハードルの記事

を掲載。その記事を受けて7月10日・11日・17日・18日には「スマホ投票を」「訪問選挙管理人制度で自宅での投票を」「名前にチェックする方法に」「在宅投票は産後間もないママの助かる」と読者の投書が載っていた。

今回の選挙中も「投票に行きたいが足腰が弱って外出は出来ない」「家族と一緒に投票所の所に付添えないので不安になってしまい選挙に行かなくなった」「投票所の台の上に掲載されている候補者一覧が小さすぎて読めない」などの声が寄せられました。

投票する意思があるのに、身体的理由で参政権を行使できない有権者が200万人以上ではないかと東京新聞は推定しています。

全ての人が投票に参加できるように、もっと条件整備をしなければいけない。地方自治体からも具体的に声を上げることも必要です。選挙終了直後ですので、みなさんからご意見をお寄せ下さい。



7月21日のしんぶん赤旗「読書」で紹介されていた本です。カナダに住むシャンタルとジェイ夫妻がプラスチックの問題と使わない生活を紹介したもの。日常生活で出会うプラスチックの種類、そこからしみだす恐れのある化学物質と危険性、代替品として使えるものがあげられているようです。この問題の第一人者、高田秀重東京農工大学教授の解説付き。図書館に問合せると区内では2冊所蔵。現在貸出中で予約を入れました。7月26日には藤沢市の日本初のノンプラスチック商品のお店に調査に行きます。次号でお知らせします。

